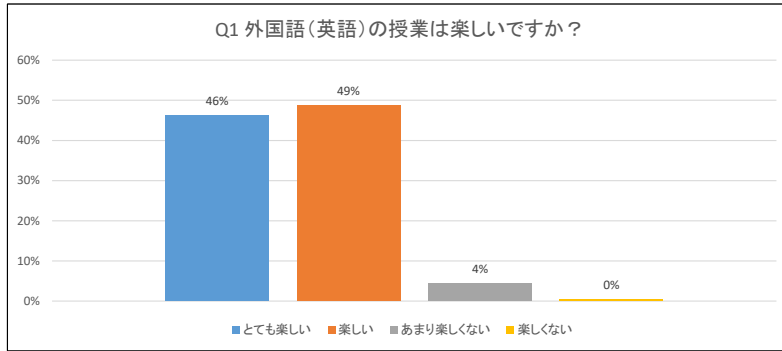
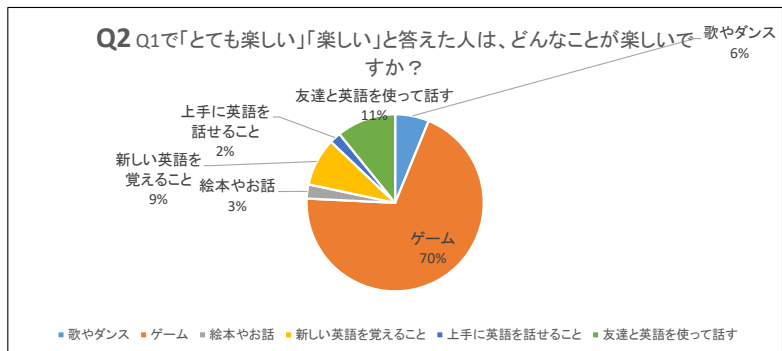


令和7年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(豊川小)



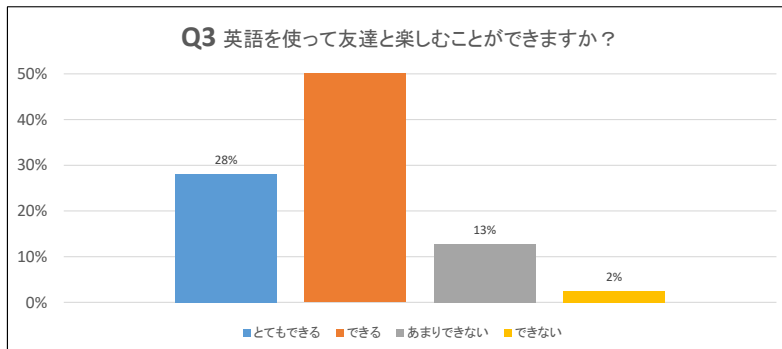
【Q1について】

95%以上の児童が「楽しい」と答えており、楽しみながら外国語(英語)を学習している。今後も児童の生活や興味関心を踏まえた学習内容を工夫していく。
わずかではあるが、「あまり楽しくない」と答えている児童がいる。昨年度よりは9%減少している。今後も、児童全員が授業の中で「できた」「わかった」と実感できるように活動内容や振り返りの時間を十分確保し、見届けや評価を充実させていく。



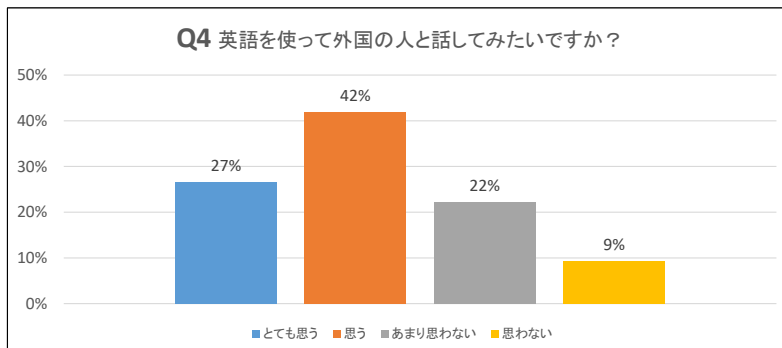
【Q2について】

多くの児童は、ゲームや歌、ダンス等の活動を通じた学習が「楽しい」と感じている。音楽やダンス、ゲーム的な要素を取り入れることで、外国語(英語)の学習に対する抵抗感が減り、児童の学習意欲も高めることができると考えられる。今後も積極的に取り入れていきたい。
また、「友達と英語を使って話すこと」や「英語を上手に話せること」等英語を使って会話することに楽しさを感じている児童もいる。今後も、外国語(英語)での会話や表現活動を楽しみ感じることができるよう授業づくりを行ってきたい。



【Q3について】

約80%の児童が授業や生活の中で英語を使った表現活動を楽しみながら行っている。多くの児童が授業を中心に外国語(英語)を使った会話やスピーチ等コミュニケーションを楽しみながら行っていると考えられる。
今後も、学年や発達段階に応じて身近で簡単な事柄について外国語(英語)で尋ねたり答えたり、外国語(英語)で自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行い、外国語(英語)でコミュニケーションすることのよさや楽しさを味わえるようにする。



【Q4について】

約70%の児童が外国語(英語)を使って外国の人と話してみたいという意欲をもっている。このことは、学習で、外国の文化に触れたり、ALTとコミュニケーションをとることで異文化に対する興味・関心が高まり、身に付けた外国語(英語)を使ってみたいという意欲が高まっていると考えられる。
しかし、約30%の児童が外国語(英語)を使って外国の人と話したいという意欲が高まっていないので、さらに他教科とも関連づけながら異文化について知る機会を増やし、時、場所、状況等を具体的に設定したALTとのコミュニケーションを取り入れた学習を増やしていきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

保護者、学校運営協議会委員からは、1年生から外国語(英語)の学習に取り組むことに肯定的な意見が多く、期待も高い。また、少数ではあるが、「外国語(英語)専科の教員を配置してほしい」という意見も見られた。

【考察・今後の展望等】

今後も、宇城市全体で取組事例を共有したり、授業者とATLがさらに一緒に教材開発を行ったりしていくことで、児童が楽しみながら学べ、しかも、学びが深い外国語(英語)の授業づくりに努めていきたい。